1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 6 月 5 日発行　SSKU　増刊通巻第 5785 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-3337

シャケ Zo くん

SSKU わくわくかん リボン便り

http://www.wakuwakukan.net/

2017 年 6 月号　No.195

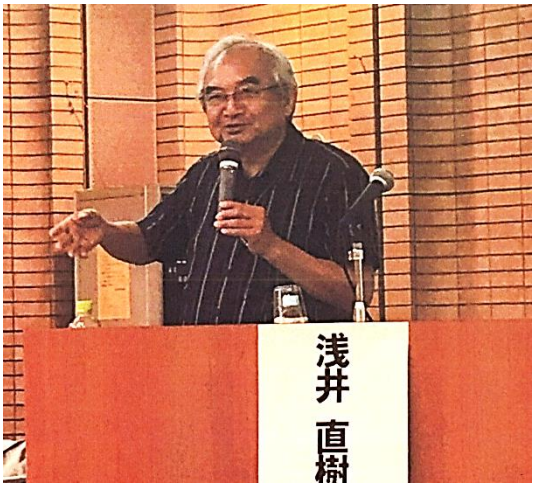
？？なぜリボン？？

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

ＮＰＯ法人わくわくかん第 18 回定期総会が 5 月 24 日、赤羽会館大ホールで開催されました。その後の記念講演会は、愛知県津島市で「しげんカフェ」を営む浅井直樹さんから、家庭資源買取の仕組みには「優しい人が集まる、資源が集まる、資金が集まる!」と題し、町おこしの立場からのユニークな体験談を交えたお話を頂きました。講演後は、非営利の市民事業のあり方が活発に議論されました。

わくわくかんが第 18 回定期総会を開く

齋藤縣三理事長は、開会のあいさつで「4 月から実施のＡ型事業への改正や就労移行事業の北区での新しい事業者参入もあって、わくわくかんをとりまく環境は厳しいものがある。残念ながら他の事業所と違う特色を持つに至らなかった。なかまの滋賀の共生シンフォニーが自立訓練と就労移行を組み合わせた、知的障がい対象の 4 年制の『カレッジ』で共に支えていく事業を成功させていることが、一つのヒントになる」と語った。



続いて、定足数の確認後、議長に山下事務長を選出。第 1 号議案事業報告を、自立訓練『ボランティア響会』管理者古場さんが報告。利用希望者が多く、今年の 4 月から定員 15 を22 名に変更。現在 23 名。「おちゃのこ祭祭」など、地域への参加につながりを感じるプログラムやハンドベルなどを行った。利用者２名も登壇。中でも利用して間もないＮさんが「家で生活保護を受けていたが、響の生活訓練の場に出て第２の親に会えた感じ。みんな協力的で楽しい」と語ったのが印象的でした。次に、ヘルパーの宮澤さんからは移動支援の話や入院で制度利用者が減った報告があった。第２号議案決算報告は、会計の橋爪さんが活動計算書を中心に報告。

第３号議案は、安部監事から決算報告が正確であると報告があり、鶴田監事からは基本理念などミッションの高いわくわんかんにおいて、活動は大変に地味、もっとネットワークをつくっていくようにと激励。第４号議案事業計画（案）、第５号議案予算（案）、第６号議案では西野智恵子氏を新理事に加えて、全議案の承認を得て総会を終えた。

ユーモアたっぷりの浅井講演

記念講演「しげんカフェ」浅井直樹さんの話は、ゴミのリサイクル 40 年のダイナミックでユーモアがいっぱい。住民運動の清掃工場差し止め体験から始まったその話は、日本の家庭の資源買取りの崩壊と日本の経済成長とゴミの急増の中で、沼津で始まった市民の分別方式が全国を席巻していく。

自治体の廃棄物処理量が爆発的に増える中、困った自治体、市民事業が家庭資源のリサイクルに取り組むが市民運動は問屋との交渉力無く、やがて消え去っていく。だが円高を背景に中国・東南アジアの古紙や鉱物資源高騰のなか、「しげんカフェ」構想が生まれます。

それはコストのかかる収集・選別を消費者に負担してもらい、非営利のフランチャイズ化による量の集積によって、買取りの好条件を確保する。つどいのビジネスの展開で人間的な価値を付加し、集客と集荷を確保する。

かくして「町おこし」をだれもが居心地のよいカフェの居場所づくりとつどいの場が誕生する。おしゃれな「くず屋さん」として地域の高齢者雇用 19 名、居場所としての喫茶店には 1 日 140 名、月収 220 万円。講演後、東京でリサイクルや清掃、かたずけの企業組合やワーカーズコレクティブとの交流ももたれました。

＜わくわくかん 6 月予定表＞

- ✧ 6 月 03 日（土）リボーンプロジェクトＯＢ会 13:30～
- ✧ 6 月 10 日（土）はたらっくす 16:00～（自立訓練室）
- ✧ 6 月 10～11 日　おちゃのこ祭祭 10:00～　（滝野川会館）主催・社会福祉協議会
- ✧ 6 月 26 日（月）現場協議会 16:30～（スカイブリッジ）
- ✧ 6 月 27 日（火）家族懇談会 16:00～（自立訓練室）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 6 月 5 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5785 号

わくわく配食サービス

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

もみなすの炒めもの

♣いつものなすと一味違うシャキッとした仕上がり！

（材料（2 人分）	塩―――小サジ 1/4
なす―――2 本	トマトケチャップ小サジ 1
豚肉―――50 g	カレー粉―――少々
（4 ㎝くらいに切る）	しょうゆ―――少々
油―――大サジ 2	

作り方

①なすはヘタを取り、5mm くらいの輪切り。

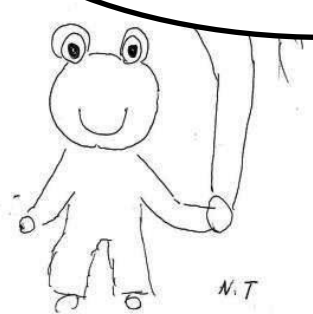
②なすを袋に入れ、塩小サジ 1/4 を入れ、
　くずさないようにかるくもみ、しばらく
　おく。

③しんなりしたら袋の口をおさえ、中の汁を絞る

④豚肉を油大さじ 2 で炒め、

＜なすの Data＞
注目の栄養成分
ビタミン C、B1、カリウム
エネルギー
22Kcal/100 g
美味しい時期
6～9 月
保存
ラップに包み冷蔵庫で 3～4 日。冷やし過ぎるとちぢむので注意

成分は水分が 90%以上でビタミンやミネラル類はあまりふく含まれていません。「なす紺」と呼成ばれる紫紺色の皮に含まれる成分は、ナスニンというアントシアニン系色素で、ポリフェノールの一種です。アントシアニンは活性酸素の働きを抑制し、ガン予防のほか、血管をきれいにし、動脈硬化や高血圧を予防する効果もあるといわれています。



…」を開催しています。ミーティングの目的は、わくわく配食サービスの売上げを伸ばし経費を下げるなど経営の健全化です。けして決定する場所ではないため、自由に活発に話し合っています。検討した内容の決定は、スタッフ会議または年に 4 回の配食サービス全員

…で「収益アップのためのミーティン

「わくわく配食サービスの収益アップミーティング」の経過報告

参加の「全体ミーティング」で行うようにしています。

第1回目は、自由に思いを話し合い結果として、テーマは3つに絞りこまれました。1、新規顧客の方の獲得には、どうしたら良いか。2、継続して顧客の方を獲得するには、どうしたら良いか。3、経費を削減するには、どうしたら良いか。第2回目以降は、第1回のテーマを一つ一つ話し合ってきました。

新規・及び継続した顧客の方の獲得のために、現在のテーマは「顧客の方へのアンケート」の実施に向けて、文面を検討中です。また、現在のチラシは在庫が少なくなっているため新たな「わくわく配食サービスのチラシ」を検討しています。

今後も、自由な発想でより良い「わくわく配食サービスのお弁当」をお客様にお届けできればと考えています。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 6 月 5 日発行　SSKU　増刊通巻第 5785 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

＜外出報告！＞

東京スカイツリー

今回の外出の行き先は東京スカイツリーでした。メンバー、スタッフ、ボランティア総勢 15 名で出掛けました。王子から都バスで浅草まで行き、そこからスカイツリーまで歩きました。スカイツリーは見えましたけど道に迷いました。すると、あるお店のおじさんが案内してくれました。浅草から歩くこと 30 分、ようやくスカイツリーに到着しました。

昼食タイムでは、パスタ屋さん、ハンバーグ、マクドナルドなど食べたい物をいただきました。

昼食後は展望台に登りました。展望デッキまでは、エレベーターで約 50 秒で到達。思っていたよりも速いスピードでした。展望台からの景色は少し曇っていたもののとてもきれいに見えました。東京タワーも見えました。ガラスの床に乗ると下に落ちてしまいそうでとても恐かったです。下の階で各自おみやげを買いました。とても充実した 1 日でした。（メンバーT&O）

『今年から始まった。ミニクッキング！！』

昨年迄は、全てのメンバーさんで作りましたが、人数が多い為、今年からメンバーさんを振り分けて、毎週金曜日に同じお題の素材を使って始まりました。

今回ご紹介致しますのは、「便利な調味料」を使った料理です。あるチームは、しょうが焼きのタレを使って、豚こま肉のしょうが焼きと、キャベツの千切りと、フルーツ（りんご）を作りました。又、あるチームは、ホイコーローとマーボー豆腐を作りました。どちらも絶品で、利用者さん達も満足しました。

全員で作っていた頃と比べて、一人一人に、役割を任せられるようになって、非常に良い緊張感で、おいしい料理が作れました。

毎回予算が決まっていて、スタッフさんが見守る中、素材を選んで、予算内に納まるように、考えながら、メニューを決めます。今後も、おいしい料理が作れるように、がんばります。

（T&O）

＜仮設のスポセン！＞

初利用感動の報告

障害者スポーツセンターに行きました。東京五輪に向けて改装中のため、仮設スポーツの体育館を、月 1 回の利用になりました。建物は、少しせまかったですが、造りは、しっかりしていて感動しました。実際にやったのは、バドミントンとソフトバレーボールを行ったが、時間的制約があり、少しものたりなかったので次回からは、計画を立てて、スムーズにプレーが出来るようにしたいです。

響メンバーのゴールデンウィークの過ごし方

桜の季節も終わり、新緑の季節。寒くも暑くもなくいい季節が来ました。ゴールデンウィークに響メンバーがどのように過ごしてきたか聞いてみました。

＊プロントでほぼ毎日、コーヒーを飲んでいました。
　友人と遊んでいました。（Y,T）
＊セ・リーグのジャイアンツの野球観戦に行ってきました。楽しかったです。あとは、友人とお酒を飲みに行ってきました。
＊ゴールデンウィークは、サイクリングで最初のほうと最後のほう、親父とサイクリングに出かけた。
＊田舎に帰省。おちゃのこ祭祭用の松ぼっくりをひろったり、親と食事や酒を飲んでました。（K）
＊押入れの整理（冬物の収納）。インターネットゲーム（T,K）
＊熱を出してしまったができるかぎり外出し散歩をしていた。
＊越谷レイクタウンに行った。
＊ドライブしたり家でゴロゴロしていた。
＊4/30 COMIC1、5/5 都産祭、5/6COMITA、5/7 博麗神社例大祭砲電撃戦よ～い
＊主人の車でひたち海浜公園ネモフイラを見に行きました。あしかがフラワーパークの藤の花も見ました。（Y,O）
＊ゴロゴロしていた、野球を見た。（O,H）
＊引っ越しの後片付けをした。友人の家に泊まりに行った。（K,F）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 6 月 5 日発行　SSKU　増刊通巻第 5785 号

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032　東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター４F　Tel：03-5963-6888

PowerPoint 講座の開講

４ 月よりパソコン講座の改編が行われ、５ 月より PowerPoint（パワーポイント）講座を開講することとなりました。PowerPoint とは、発表用のスライドを作るソフトです。

最近の求人票には、仕事の内容に、“PowerPoint も使えるとなお可”と書かれることも珍しくはなくなりました。そして、メンバーからのニーズの高まりもあり、レギュラー講座としました。

発表に大切なことは、自分が一番伝えたいことを明確にすることです。PowerPoint にはその目的を達成させるための様々なツールが満載です。けれども、ここに落とし穴があります。ツールの使い方が分かればわかるほど、技巧的になり、本来の目的である発表とその内容を理解してもらうことが、いつのまにか PowerPoint を使いこなすことが目的となってしまうことなのです。

パソコンを使いこなしていく過程で、多くの方が辿る道筋があります。それは最初はスキルの低さもあり成果物はシンプルになります。しかし、だんだんスキルアップをしていくうちに、デコレーションが派手になり、ある程度やり尽くしていくと、今度は Simple is Best.になっていきます。こと、PowerPoint に関してはそれが如実に現れます。

目的は自分の伝えたい事を理解してもらうことです。そのためには、発表のストーリーが大切です。言ってみれば、セルフプロデュースをする監督になるのです。テーマを決め、発表のストーリーを組み上げ、資料を作り、発表を成功させる。実は PowerPoint はこの流れのごく一部、資料作りの 1 つの手段に過ぎません。

とはいっても、発表を成功させるために、視覚に訴えることは、とても効果の高い手段です。今は、メンバーに PowerPoint の様々な機能をお伝えしています。まずは、派手なデコレーションができるくらいにスキルを上げてもらい、時期を見ながら、ストーリーの組み立て方などをお伝えする予定です。

「いいところ探し」とは

リボーンプロジェクトでは、「いいところ探し」という研修を行っています。「相手の良い所を見つけてほめる」という事を目標に、全員で各人の名前の書かれた用紙を１枚ずつ回し合って、相手の良い所を無記名で書き込んでいきます。（寄せ書きのようなイメージです。）最後に名前のご本人に返却するのですが、それを通じてご本人は、自分でも気付かなかった良い点を見つけたり、周囲からの自分のイメージを知ったり、認めてくれる人がいると感じる事で、自信の回復に繋がります。また、就職活動において、自己ＰＲにも使えます。履歴書や職務経歴書には自分の長所を記入する必要があるため「自分の良い所が見つけられない」と困ってしまう方もいるのですが、「いいところ探し」を行うとご自身の強みに気付かれる方も多いです。自分の長所をしっかり説明できる事は、企業に対して強いアピールに繋がります。

◆リボーンプロジェクトの「いいところ探し」◆

☆家から近い。ひざにやさしい。スタッフがゆかい。
☆みんなが優しい。おだやか。助け合いの精神を持っている。
☆笑いとユーモアにあふれている。
☆スタッフが全員やさしくて親切です。
☆業務や講座もいろいろあって勉強になります。お弁当がいい。
☆スタッフの方がみなさん良い方です。
☆プログラムがしっかりしていて、今まで通ったセンターの中で今のところ一番好きです。
☆居心地が良い。
☆いろいろと勉強になります。
☆業務に講座、研修など勉強になります。
☆全体的にユルい。おどる就労移行支援。
☆スタッフの方が個性的。
☆通いやすい。学校に来ているみたいで楽しい。
☆プログラムがいっぱいありお金をくれる。
☆ここに来てから自分に少し自信がつきました。
☆スタッフのキャラが個性的。
☆全員で助け合っている。（スタッフも訓練生も問わず）チームワークがいい。
☆キャラに不足はない。キャラが濃い。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 6 月 5 日発行　SSKU　増刊通巻第 5785 号

第２回　わくわくかん　家族懇談会のお知らせ

開催日時：　2017 年６月 27 日（火）16:00～17:00
場　　所：　障害者福祉センター　４階　自立訓練室
内　　容：　親亡きあとについて①
個人面談：　※（事前にお申し込みを）17:00～
連 絡 先：　TEL　03－5963－6888　FAX　03－3906－9997

≪第三者評価の結果報告会≫

［ **リボーンプロジェクト（就労移行）**
ボランティア響会（自立訓練）　の場合 ］

2016 年度は、3 年に一度受審する「福祉サービス第三者評価」の年でした。先日、評価機関である NPO 人材開発機構の水谷様にお越しいただき、職員へ評価結果の報告をして頂きました。また、5 月 2 日、11 日にリボーンプロジェクト・ボランティア響会を利用されている皆様には、サービス管理責任者より報告をさせて頂きました。その報告の内容をご紹介します、

全体評価講評

◎特に良いと思う点について

１．事業所独自のアセスメントシートを活用して個別支援計画を作成し、利用者１人１人の目標を達成できるように取り組んでいる。
２．リボーンプロジェクトでは、新人研修資料を使って基本訓練を行っており、新利用者は書類に記載をしながら就労を意識することが出来る仕組みがある。
３．ボランティア響会（自立訓練）の毎週土曜の地域交流日、リボーンプロジェクトの OB 会を開催するなど、利用者同士者だけでなく、OB や地域で同じ障害を持つ人々との交流を大切にしている。

◎さらに改善が望まれる点として

１．系統だった職員研修計画の作成と実施、受講後に全体への周知等により、事業所全体の能力向上が期待される。
２．感染症対応やてんかん発作時の対応等、医療に関するマニュアルの整備が期待される。
３．利用者から就労への漠然とした不安が行かれる中で、本音を引き出す職員の一歩踏み込んだ支援が期待される。

◎リボーンプロジェクト・ボランティア響会が力を入れている取り組み

利用者記入の「日誌記録」と「活動記録シート」を活用し、職員の朝礼や会議等で支援の情報を共有化している。

利用者の聞き取り調査結果

当事業所を総合的に見て 83％が満足と回答。「話す自信がなかったが、SST に触れて自信が持てるようになった（自立）」「ここへ来ることが楽しくて仕方ない（自立）」「ビジネスの基本常識やビジネスマナーについてもしっかり学べる（就労移行）」「生活リズムが整えられ、サポート体制には満足している（就労移行）」との声が聴かれた。　一方で、「職員が忙しそうにしているため、相談をしづらいことがある」というご意見や、外部の苦情窓口についての説明が十分でなく、「話は聞いたことはあるけれど具体的にどうしたら良いか分からない」とのご意見があった。

今回の評価結果の中で改善が必要な事項については、早急に整備して参ります。また、今後も法人の理念を大切に、利用者の皆様の思いに寄り添った支援が提供できるよう、職員一同取り組んで参ります。

※さらに詳しい評価結果は、「とうきょう福祉ナビゲーション」（HP）で見ることが出来ます。ぜひ、検索してみてください。

５月はたらっくす報告

5 月 13 日にはたらっくすは行われ、4 名の参加でした。働くには体調管理や生活設計も大事な案件で、そんな事について話し合いました。一般就労はきついか？と問われれば確かにきついです。ですが、それとペアで楽しい事もあるのでやみつきになります。例えば先輩から缶コーヒーを奢られた、とします。「良い人だな」と当然思いますが、代わりに山程野沢山の仕事を頼まれたりします。「よ～し、やってやるぞ！」と張り切って仕事を終えた時の充足感は本当に何事にも代えられません。それからは、その方に缶コーヒーを奢られる度に「よっしゃ！来るな！」とエネルギーが沸いてくるのです。仕事というのは、どうしてかは判らないのですが、人間的に成長出来る仕組みになっています。もしあなたが仕事で辛い、と感じていたら、是非はたらっくすで会いましょう。「皆、同じなんだ」と思えます。次回のはたらっくすは 6 月 10 日（土）の 16～18 時にわくわくかんで行います。　(H. M)

1998年10月9日第三種郵便物認可　（毎月3回8の日発行）
2017年6月5日発行　SSKU　増刊通巻第5785号

「民生委員・児童委員の日」自主製品販売会

わくわくかんの出店好評・完売続出！！

５月25日（木）・26日（金）に北とぴあの入口前で「民生委員・児童委員の日」自主製品販売会があり、わくわくかんも販売に参加しました。例年は１日のみの参加なのですが、今年は参加団体の数を調整すること等の関係で、２日に渡って参加することとなりました。二日とも天候があまり良くなく、特に26日（金）の午前は、かなり本格的に雨が降ったのですが、午後には雨が上がり、購入してくれるお客さんも心配したほどには減りはしませんでした。

わくわくかんでは、二日ともに、配食サービスで製造した焼き菓子、えか農場から送っていただいた無農薬野菜、リボーンと響で制作した手作りの小物を販売しました。焼き菓子、無農薬野菜、手作り小物ともに、非常に売れ行きが好調で、野菜は二日ともに午前中に売り切れました。焼き菓子も例年よりも数を増やしたのですが、時間内に完売しました。

今回は、売り子として響のメンバーが数多く参加をしてくれ、大変に助かりました。リボーンの訓練生や配食サービスの当事者スタッフも売り子に加わってくれ、いつも以上に賑やかに販売を行うことが出来ました。天候が悪かったのが残念でしたが、皆さん非常に積極的に声を出し、お客さんと密なコミュニケーションをとりながら販売を行っており、本当に充実した販売会になったと思います。

＜利用者の方の感想＞

★5/25・26両日の販売イベントに参加して、色々な方と接することが出来て、楽しかったです。江戸川の方でクラフト作りしている人から作品を誉めてもらったり、わくわく配食のことを話したりと、会話できたのが良かったです。2日とも、焼き菓子に野菜と完売できたのも、販売の楽しさだったと感じました。これもひとえにプログラムの成果かと思います。　(K.T)

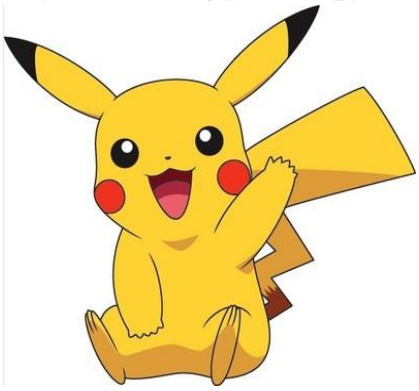
★販売を通して、お客様とコミュニケーションがたくさんとれて、とても楽しかったです。また販売イベントのあるときには参加させて頂きたいです。ありがとうございました。　(T.Y)

★25日の販売は立ち仕事がつらかったですが、最後まで残れました。26日は、いすに座りながらだったのでそんなにつらくなかったですが、しかし大変でした。自信につながりました。　(O.K)

今年の新入社員タイプ
キャラ捕獲ゲーム型

公益財団法人日本生産性本部は3月23日、2017年度の新入社員の特徴を「キャラクター捕獲ゲーム型」と発表した。

キャラクター（就職先）は数多くあり、比較的容易に捕獲（内定）できたようだ。一方で、レアキャラ（優良企業）を捕まえるのはやはり難しい。すばやく（採用活動の前倒し）捕獲するためにはネット・SNSを駆使して情報収集し、スマホを片手に東奔西走しなければならない。必死になりすぎてうっかり危険地帯（ブラック企業）に入らぬように注意が必要だ。はじめは熱中して取り組むが、飽きやすい傾向も（早期離職）。モチベーションを維持するためにも新しいイベントを準備して、飽きさせぬような注意が必要（やりがい、目標の提供）とした。



採用が増え、氷河期から売り手市場へと変化しても、就職活動は学生にとって大きな負担だ。リクルートスーツを着てスマホで情報収集しながら説明会から説明会へ、インターンシップからインターンシップへと歩き回る姿は、昨年夏に大流行したスマホゲーム「ポケモンGO」に熱中した人々を思い起こさせる。

ただし、このゲームは電池や通信量がかさむのでやりすぎには注意が必要だ（ワーク・ライフ・バランス）との注意も。

障害者の雇用状況改善のない２社を公表

厚生労働省は3月31日、障害者の雇用の促進等に基づく企業名の公表を行った。障害者の雇用状況に改善がみられない企業として「㈱エル・エム・エス（本社：東京都文京区・卸売業）」「㈱さもと（本社：東京都渋谷区・その他の製造業）」の2社を公表した。

厚生労働省では、2014年1月1日から2016年12月31日までの雇入れ計画を作成した452社のうち、雇用状況の改善が特に悪かった53社と、2016年に企業名を公表か、公表を猶予した3社の計56社を対象に「障害者の雇用状況に改善が見られない場合、2016年度中に企業名を公表する」として改善の指導を行ってきた。

2社は、指導終了後の本年1月1日から、雇用状況に改善が見られなかったため、企業名が公表された。厚生労働省では企業名を公表された2社に対し、引き続き、雇用率達成に向けた指導を実施するとした。

1998年10月9日第三種郵便物認可　　（毎月3回8の日発行）
2017年6月5日発行　　SSKU　　増刊通巻第5785号

緊急

治安対策を色濃くした精神保健福祉法の改悪が今進められている！

副理事長　　堀　利和

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を「改正」する法律案が、4月7日に参議院本会議で審議入りした。当初は4月19日の本会議で可決の予定であったが、審議は紛糾し、5月17日の本会議で可決、衆議院に送られることとなった。

というのも、参議院に提出された法律案の趣旨説明としての概要「改正の趣旨」では、冒頭に「相模原市の障害者施設の事件では、犯罪予告通りに実施され、多くの被害者を出す惨事となった。二度と同様の事件が発生しないよう、以下のポイントに留意して法整備を行う」とあった。これは明らかに相模原事件を法案「改正」の根拠・理由としたものであり、防犯対策のために措置入院者の退院後の処遇を検討するための法案内容になっている。事件と措置入院者との因果関係を無理やりに結びつけて、治安対策を色濃くしたものとなっている。民進、共産、社民など野党はこの点を追及した。

政府厚労省は13日朝、突如、「改正の概要」の差し替えを求めたが、野党は反発。結果、追加資料という扱いになった。差し替え資料は冒頭の文章の削除であった。つまり、削除は法案「改正」のための根拠・理由を失うものであり、野党は当然法案の取り下げを要求した。なぜなら、もはや本法案の「立法事実」がなくなったからである。塩崎大臣は国会でそれを謝罪したが、にもかかわらず与党は委員会審議を強引に進めた。

そこで、野党は、警察庁も参画した相模原事件の「検証チーム」の議事録の開示を求めたが、政府は黒塗りにするしない、非公開の議事録は開示できないとして紛糾し、結局十分な審議は得られなかった。

法案の問題点を簡潔にまとめると、

① 措置入院患者の退院時とその後の対応については、代表者会議と精神障害者支援地域協議会（個別調整会議）の参加者に、警察が関与すること

② 個別支援計画の作成にあたっては条文上家族や本人の参加が認められておらず、作成された支援計画が本人に交付されるということ。

だが、審議入りから一か月余過ぎた5月16日に委員会で採決が行われてしまった。本則の原案には、民進、共産、社民が反対し、また民進は「附則第十条関係」の修正案を提出して賛成多数で可決となる。修正案は施行後5年の見直しを3年とし、また措置入院者等及び医療保護入院者の退院後の医療その他の支援の在り方、当該支援に係る関係行政機関等による協議の在り方、自発的意思に基づかずに精神科病院に入院した者（以下「非自発的入院者」という。）の権利の保護に係る制度の在り方等について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとすることというものである。主な点は以下の通り。

① 新法第五十一条の十一の二第三項の合議体への参加を含む措置入院者等及びその家族による当該措置入院者等に係る退院後支援計画の作成に関する手続きへの関与の機会の確保

② 措置入院者等及びその家族による当該措置入院者等に係る退院後支援計画の内容及びその実施についての異議又は修正の申出に係る手続きの整備

③ 非自発的入院者に係る法定代理人又は弁護士の選任の機会の確保

最後に一言つけ加えれば、そもそも事件直後の塩崎大臣や安倍首相が関係閣僚会議を開いて、あたかも措置入院経歴者の被告植松と事件の関係を直結させ、再犯防止の意向を示したことから問題は始まる。事件の真相がまだ明らかになっていないうちにである。

また、措置入院者といえども警察の監視下におかれれば、一般の人・世間の人には措置入院、医療保護入院、任意入院、通院などの違いがわからず、ただただ精神障害者は怖い人、何をするかわからない人、犯罪者予備軍という偏見・差別が今以上に強まっていきかねないと懸念される。私たちわくわくかんにとっても他人事ではない。　　（5月18日付）

★今月号から編集メンバーのリレー連載が始まります★

現場からのひとこと①

ストレス解消のすすめ

先日、プライベートで、ストレス解消法100個挙げてリストを作ってみました。このリストを作り、そしてストレスに気付いたらリストを見て実行する。これが良いストレス対処のやり方だそうです。質より量で、ともかくいっぱい挙げたほうが良いらしいです。私のリストの一部を下に書いてみました。なかなか自分なりに良いリストが出来た気がするし、作るだけで、もうストレス解消された気がします。

「カラオケに行く」「お笑い番組を見る」「友人や同僚に悩みを相談する」「銭湯にいく」「公園で日光浴をしながらお酒を飲む」「散髪に行く」「喫茶店でコーヒーを飲む」「安い古着や雑貨、古本を求めてお店めぐり」「日記に想いをぶちまける」「神社にお参りする」よかったらみなさんも自分のリストを作ってみてください。オススメです。　　【相談事業所F】

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 6 月 5 日発行　SSKU　増刊通巻第 5785 号

投　稿

新横綱　稀勢の里関を支えた曲

新横綱　稀勢の里関がケガのため休場になりました。その稀勢の里がずっと心の支えにして、苦しい時、歌って自分を励まし続けていた曲というのが、私の大好きな馬場俊英さんの「スタートライン～新しい風～」です。ご存知でしたか?

馬場俊英さんは 28 歳で遅いメジャーデビューをしますが、ヒットに恵まれず、４年後にレコード会社から契約打ち切りを告げられてしまいます。

それでも音楽をあきらめられず、馬場さんはインディーズに戻り、一本のギターと自分の体一つで、小さなライブバーなどでライブを続けました。しかし、なかなか思うようにいかない毎日でした。ライブをやったら一人もお客さんが来なかったこともあったそうです。

けれど彼の地道な活動が実を結び始め、だんだんと応援してくれるお客さんが増えていきました。そして、37 歳の時に再メジャーデビューを果たします！

そんな苦しかった時期に作った曲が、この「スタートライン」でした。

馬場 俊英「スタートライン　～新しい風～」

「スタートライン」のジャケットから

この曲は稀勢の里関だけでなく、柔道のオリンピック選手や、プロ野球のロッテの投手の方なども、苦しい時に原点に戻れる曲として、試合前に自分を鼓舞する曲として、聴いているそうです。

馬場さんは 30 代後半で再デビューを果たしたことで、「中年の星」と話題になり、この曲で 2007 年に紅白歌合戦にも出場します。

私の好きな歌詞の一部は

「青春と呼べた日々は過ぎたのに、今でも心の奥に　風が吹きぬける
優しい人にばかり悲しみが降りかかる　報われないことがここには多すぎる
だけどそうだよ、どんな時も信じることをやめないで
きっと　チャンスは何度でも　　君のそばに」

つらい時、落ち込んだ時、馬場さんが優しく語りかけてくれるようなスローな曲です。
Youtube で聞けますのでぜひ、一度、聴いてみてください☆

（リボーンプロジェクト M.K）

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2017 年４月末）676 名
就職者　３名(事務職３名)

先月　ご協力いただいた皆様

・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉障害者センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・東京障害者職業センター・東京都障がい者就業支援事業所の会・北区身体障害者協和会・北区聴覚障害者協会・東京都精神保健福祉家族会連合会・精神障害者地域生活支援とうきょう会議・東京都障がい者就業支援事業所の会・日本福祉教育専門学校・戸田中央看護専門学校・東京しごと財団・町田の丘学園・㈱ECA・一般社団しげんカフェシステムズ・スーユンタン・ぶろぼの・えんこらしょ・企業組合あうん等

他、多くの方に協力いただきました。

グループホームわくわくかん

北区には３つグループホームがあります。わくわくかんは見回りが週 1～2 回程度、ご本人からの発信が無い限り世話人が動かない事もあります。新規入居時に診断名で受入れを判断する事はありません。他の事業所は、毎日２回以上の見回りがあり、手厚い支援、しかし診断名によっては入居出来ないことも。理由を聞くと、症状によっては何もお手伝い出来ないまま卒業に至ってしまう事があるため。入居者の生活スキル向上が目的なら、最もな理由です。世話人になって５年。自身が出来るようになる事を増やすお手伝いはすすんでいません。ご本人が一人で出来ない事は何か？一人暮らしになった時、それを何をもってフォローするか？その見極めるだけ。受入れの際、職員のスキルや支援体制をお伝えした上で、入居するかしないかを決めるのはご本人。違いの見えたＧＨの交流でした。

▼編集後記▼

急増する【障害者サービス】事業者について、山形の『月山便り』がこの３年間で 3 法人４施設が立ち上がり更に準備中の所を加えると４法人 5 施設になるという。従来の障害者施設は卒業したけれども行くところが無い、精神病院を退院したけれども行くところが無い、脳卒中や労災事故、交通事故による後遺症者の社会参加の場が欲しいなどの切実な要望から保護者たちが協同で作業所を創設したり、と止むに止まれない事情から施設が立ち上がった。ところが国は介護保険事業に「競争原理」を働かせるとして株式会社を含む全ての法人が事業者になれる道を開いたことから利益を上げる本末転倒なことが起こり、それは利用者処遇や職員の労働条件の劣悪化を伴っている。さらに国は「我がこと、丸ごと、地域ごと」で今までと考えられない環境変化が起こそうとしていると指摘している。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円（会費に含む）